

5月 モニターレポート	担当出張 所	毛馬出張所
担当区間	JR東海道本線上淀鉄橋～菅原城北大橋（右岸 8.8～12.2 km）	
モニター実施日時	令和2年5月27日午後12～13時頃・17時～18時頃	
天 候	晴れ	

（見出し）

淀川のJR東海道本線上淀鉄橋（右岸 8.8 km）から菅原城北大橋（右岸 12.2 km）についてモニターしました。河川敷の状態、動植物について報告します。

（内容）

緊急事態宣言も解除され、世間では少しずつではあっても人の動きも平常時に戻りつつあるようです。良いお天気でしたが、河川敷には昼間・夕方ともに先月ほどの人出は見られませんでした。

職場に戻った人や、営業が再開された場所へ出かけた人が増えたのでしょうか。

まだ学校は完全に再開されていないため、学生たちが集まって、野球やサッカーをしている姿が目立ちました。

●不法投棄物



淀川右岸 9.3 キロ付近

いつも数か所、ゴミの投棄はありますが、今月は少し離れた2か所に大量のゴミ袋が積まれていました。ビニールに入ったゴミに便乗するかのよう、ホイールやラジカセなども捨てられ

ています。誰かが捨てていった後に、多くの方が便乗したのでしょうか。

自分の担当区域ではない所でしたが、GW期間中に河川敷を散歩して、驚きの光景を目にしました。公園事務所からは「ゴミ箱の設置なし・ゴミの持ち帰り要請」の放送が流れていました。

それにも関わらず、1か所にビニール袋に包まれたゴミ袋が山積みになっていたのです。ピクニックをしていた人たちが、そこに捨てていったのでしょうか。外出自粛期間だったため、GWなのに行くところがなく、河川公園に来た人が多かったのだらうと思います。日頃は戸外でピクニックなどしない人たちには、ゴミの持ち帰りの意識がなかったのでしょうか。たとえ慣れていなくても、放送を聞けば分かるはずですが。誰かが置いていったところに、分かっているながら便乗した人の多さに驚き、とても悲しい嫌な気持ちになってしまいました。

上記の写真のゴミの山も、同様のものかも知れません。こういうところに、その人の人間性が現れるのではないのでしょうか。

●除草作業



先日より、除草作業が行われています。すっきり刈り込んでいただいて、視界も良くなり安全です。梅雨前にして頂けると安心です。作業員の方には感謝です。

●5月の植物

所々に、ススキが群生しているような場所がありました。「5月なのにススキ？」と驚き、近づいて見ました。



ススキの群生??



開花しています

近づいて見ると、ススキのような穂先ではなく、綿のようになっていました。
調べたところ、茅（チガヤ）という植物のようです。イネ科の多年草で、芽は食用として可能とのこと。
タケノコのように、若穂を掘り出して食べるそうです。
今年は開花してしまっているので、来年、新芽が地上に出る前に試してみたい！と思いました。

●生き物たち



淀川大堰の鶴

淀川大堰には、鶴が凜とした姿で立っていました。大きくて、堂々とした姿です。



フタホシテントウムシ

立派な鶴を撮ろうと、柵に近づいたら、小さなフタホシテントウムシが目の前を歩いていました。淀川には色々な生き物が共存しているとあらためて感じました。

人間が好き勝手に汚染することは許されないのです。ひとりひとりが環境を大切にする意識を持つことが出来れば、動植物がもっと豊かに育つのだらうと思います。

5月のレポートは以上です。

(意見・感想・処置等)

5月レポートをご提出いただきましてありがとうございます。

緊急事態宣言が解除され、少しずつですが日常を取り戻しつつありますね。

不法投棄やゴミのポイ捨てはなかなか後を絶たず、河川巡視においても毎日のように発見しております。

気持ち良くお使いいただける河川であるために、ゴミの持ち帰りについてはみなさまのご協力が必要不可欠です。

除草作業については、占有者によるものと河川管理者による作業がありますが、河川管理者による除草作業は年2回(5～7月、10～12月)行っております。除草の主な目的は堤防に異常がないかを点検しやすくすることであり、5～7月は台風期に備えた点検、10～12月は次年度の出水期に備えた点検となります。

それでは、次回のレポートもお待ちしております。